

2006年度 日本建築学会
第2回 学生主体によるシャレット・ワークショップ
『逗子のまちづくりデザインを考える』

2006年9月2日～5日

ワークショップの目的

大学や学生が街の人々と連携し、新しいまちづくりのビジョンやその実現のためのシナリオを探り出す可能性を考えるために実施する「シャレット・ワークショップ」は、専門家が具体的な対象地域に短期滞在し、地域の人々との合意を形成しながら、具体的なビジョンやプランを作成する一連の作業のことを言う。
今回のワークショップは、昨年大阪・平野地域に続く第2回目のワークショップとして、市

民主体の景観づくりを行っている神奈川県逗子市の新宿地域において、全国公募による学生と教員が数日間滞在し、街の人々と協働しながら、街のコンテキストの解説、シナリオの検討、まちづくりデザインの提案までの一貫作業を行った。
これからの街づくりをコーディネートし得る人材を学生や街の中から発掘し、育成することも、このワークショップの大きな目的である。

参加者

■学生

安藤 哲也	明治大学
石川 和樹	神奈川大学
岡田 恵	山口大学
岡本 肇	名古屋大学
勝川 敬子	関西大学
加藤 輝之	関東学院大学
木村 麻里子	日本大学
齋藤 千夏	神奈川大学
阪本 一真	福井大学
佐藤 琢磨	名古屋大学
簾藤 麻木	早稲田大学
高垣 光志	大阪市立大学
出町 慎	関西大学
中島 宏典	有明工業高等専門学校

中野 美帆	関東学院大学
七尾 景子	弘前大学
西村 知香	神奈川大学
広田 沙紀	関東学院大学
福井 麗	大阪市立大学
福士 美幸	弘前大学
福島 隆徳	工学院大学
本郷 寛和	日本大学
宮島 広	神奈川大学
八木 厚輔	明治大学
山口 佳孝	大阪大学
山本 有希子	山口大学
吉岡 理	神奈川大学
和久田 敦士	工学院大学

■教員

有賀 隆	早稲田大学
鵜 心治	山口大学
岡 絵理子	大阪大学
加藤 浩司	有明高等専門学校
小林 正美	明治大学
鈴木 伸治	関東学院大学

■サポーター

古市 修	明治大学
------	------

スケジュール

	ミーティング	調査 ディスカッション	エスキス	プレゼンテーション
1日目	開会式	街歩き調査		
2日目				
3日目		グループ毎の活動		
4日目				地元住民への プレゼンテーション
	閉会式			



エスキス風景



グループ毎のディスカッション



地元住民へのプレゼンテーション

